

- 調査対象 東京都に勤務する1都3県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）  
在住のオフィスワーカー
- 調査方法 インターネット調査 ・有効回答数 5,150 サンプル
- 調査時期 2021年6月15日～6月17日

世の中を読むデータ

## オフィスビルだからこそ提供できる機能・環境は 「ビル共用のカフェテリア・ラウンジ」 75%

三菱地所は、東京都に勤務する1都3県在住の就業者を対象に定期的にアンケートを実施している。今回は2021年6月に実施した第三回調査の結果からコロナ禍における就業環境に対する意識についてスポットを当ててみたい。

### オフィス・テレワーク併用 ..... 65%

三菱地所では、過去の調査結果も踏まえ、「企業のテレワーク導入は、コロナ終息後も定着する」と予想している。

本調査の報告書によれば、コロナ禍終息後の現実的な勤務体系の予想比率は、「オフィスのみ：30%、オフィス・テレワーク併用：65%、テレワークのみ：5%」となっている。

### テレワークでは 実現できないことは

テレワークが定着するなか、本調査では、「創造性向上・Well-being 実現等の観点でテレワークでは実現できない、オフィスビルだからこそ提供できる機能・環境」について聞いている。

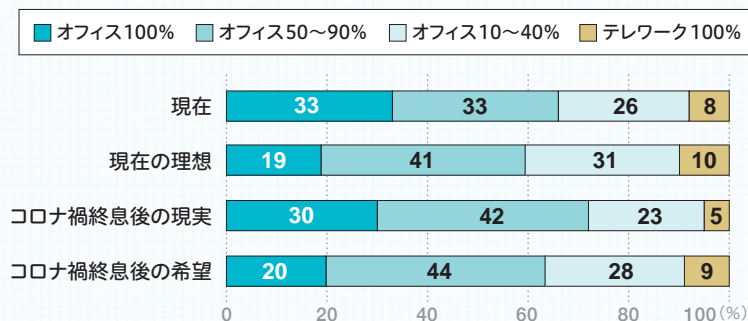
比率上位をみると、「ビル共用のカフェテリア（健康をサポートする食事の提供）・ラウンジ」を始めとして、飲食関連サービスの提供やイベント等が楽しめる屋外

空間への期待が高くなっている。飲食関連サービスや屋外空間の提供が、創造性の向上やWell-beingの実現につながるかどうかはさておき、働き方の多様化が進

むなかで、これからのオフィスビルのあり方を考えるヒントにはなりそうだ。

（インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊）

勤め先の勤務体系比率（オフィス：テレワーク比）をお答えください (N=5,150)



コロナ禍によりテレワークが定着する中、創造性向上・Well-being 実現等の観点でテレワークでは実現できない、オフィスビルだからこそ提供できる機能・環境として期待するものは何ですか (N=5,150)

